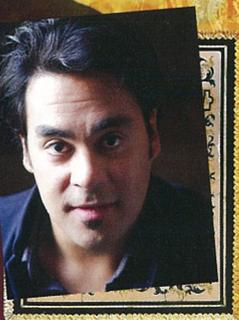


フランス・バロック・オペラの最高峰を
日本で初めて全編本格上演!
己の使命と恋心に揺れる魔女アルミードのものがたり!

リュリ作曲

アルミード

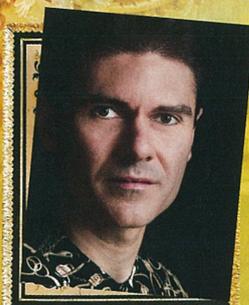
[セミ・ステージ形式 / フランス語上演・日本語字幕]
作曲 ジャン=バティスト・リュリ 台本 フィリップ・キノー
(原作 トルクヴァート・タッソ: 叙事詩『解放されたエルサレム』)



ルノー
フィリップ・タルボ
(テノール)



アルミード
クレール・ルフィアートル
(ソプラノ)



演出・振付・バロックダンス
ピエール=フランソワ・ドレ



演出
ロマナ・アニエル



指揮・ヴァイオリン
寺神戸 亮



栄光/フェニス
湯川亜也子
(メソソプラノ)



叡智/シドニー
波多野睦美
(メソソプラノ)



イドラオ/僧しめ
与那城 敬
(バリトン)



バロックダンス
松本更紗



バロックダンス
ニコレタ・ジャンカーキ



バロックダンス
ダリウス・プロジェクト

2022 平日がお得!

12.9 (金)
18:00開演
(17:30開場)

12.11 (日)
14:00開演
(13:30開場)

北とびあさくらホール

JR京浜東北線王子駅北口 / 東京メトロ南北線王子駅5番出口より徒歩2分

SS席	S席	A席	全席指定(税込)	SS席	S席	A席
8,000円	6,000円	3,000円	一般	9,000円	7,000円	4,000円
7,000円	5,000円	3,000円	北区民 ^{※1} ほくとびあメンバーズ ^{※2}	8,000円	6,000円	4,000円
4,000円	3,000円	1,500円	25歳以下 ^{※3}	4,500円	3,500円	2,000円

※1 北区民割引での購入はお一人様4枚まで。
販売はほくとびあチケットオンライン(要事前登録)・北とびあ1階チケット売場のみ。
売場では東京都北区在住を確認できるもの(免許証、保険証など)をご提示ください。
※2 ほくとびあメンバーズ…年会費1,500円 どなたでもご入会いただけます。
※3 25歳以下限定。
入場時に生年月日が分かるもの(保険証、学生証など)をご提示ください。

チケット取扱い ◯ほくとびあチケットオンライン
<https://p-ticket.jp/kitabunka>



◯北とびあ1階チケット売場
●窓口のみ(10:00~20:00/臨時休館日は10:00~18:00/全館休館日は休業)

◯チケットぴあ(Pコード:220-897) <https://t.pia.jp/> ●セブン-イレブンで直接購入
◯e+(イープラス) <https://eplus.jp/> ●ファミリーマートで直接購入
◯カンフェティチケットセンター <https://www.confetti-web.com/>
●電話予約 0120-240-540(平日10:00~18:00)

8月20日(土)
一般発売

主催・制作・問い合わせ:公益財団法人 北区文化振興財団 03-5390-1221

共催:東京都北区
後援:東京都北区教育委員会

助成:令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業、(公財)ロームミュージックファンデーション、
(公財)花王芸術・科学財団、(公財)三菱UFJ信託芸術文化財団、笹川日仏財団、
(公財)全国税理士共栄会文化財団、(公財)野村財団、(公財)朝日新聞文化財団



●メンバーズ先行(webのみ)
:8月8日(月)~10日(水)
●北区民先行(webのみ)
:8月17日(水)~18日(木)



リュリ作曲

アルミード

北とびあ国際音楽祭を毎年楽しみにしてくださっている皆様。当音楽祭もコロナ禍の煽りを受けて2回の代替公演で命を繋いで参りましたが、今年はようやくリュリ作曲《アルミード》をお届けすることができます！

音楽祭の主力公演として常にバロック、古典派時代のオペラを上演してまいりました。中でもフランス・バロック・オペラを一つの柱として特にラモールの作品を取り上げてきましたが、彼の音楽の源であり、フランス音楽の礎となったリュリの名作《アルミード》を上演することは長年の夢でありました。フランスのオペラは歌もさることながら舞踊を愛したルイ14世の影響で踊りがとても大きな要素となります。今回は素晴らしい歌手陣に加えてフランスからバロック・ダンスのスペシャリスト、ピエール=フランソワ・ドレさん、ポーランドからクラコヴィア・ダンツァのメンバーを迎えて、フランス・バロック・ダンスの魅力をお届けします。

3年前に上演したヘンデルの《リナルド》と基本同じ物語ですが視点が変わって「魔女アルミード」が主役となるお話です。お楽しみに！

寺神戸 亮

寺神戸 亮 (指揮・ヴァイオリン) RYO TERAKADO

ポリビア生まれ。バロック・ヴァイオリンの第一人者としてソリストとして活躍するほか、「レザール・フロリサン」をはじめヨーロッパを代表する古楽アンサンブルやオーケストラのコンサートマスターを歴任。1995年、第1回北とびあ国際音楽祭におけるパーセル《タイドとエネアス》で指揮者デビュー。以降、ラモール《エベの祭典》、モンテヴェルディ《オルフェオ》、シャルバンティエ《病は気から》、パーセル《妖精の女王》、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》などの指揮で絶賛を博し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。2015年度、第45回東燃ゼネラル音楽賞(洋楽部門本賞)受賞。デン・ハーグ国立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。ブリュッセル国立音楽院、韓国・延世(ヨンセイ)大学でも客員教授を務める。ベルギー在住。

ピエール=フランソワ・ドレ (演出・振付・バロックダンス) PIERRE-FRANÇOIS DOLLÉ

フランス出身のダンサー、振付家。2005年より主に古典舞踊を専門として活動し、バロックダンスの第一人者クリスティヌ・ベルのバロックダンスカンパニー・レクラ・デ・ミューズにソリストとして参加するようになる。以降、レザール・フロリサン、ル・ボエム・アルモニークなど多くの古楽グループとの共演を重ねる。振付家としても活躍し、リュリ《町人貴族》、シャルバンティエ《病は気から》などのコメディ・オペラをはじめ様々な作品やコンサートの振付を手がけるほか、ヴェルサイユ宮殿の間での公演も多く手がけている。イレーヌ・フェストと創設したシエ・ファンテジー・バロックでは2007年から2020年まで芸術監督・振付家を務め、2021年からは新たに創設したカンパニー エリオスキにて新たな活動を展開。バロックダンスの研究と普及に努めるなど、多岐にわたる活動が高く評価されている。

ロマナ・アニエル (演出) ROMANA AGNEL

ポーランド出身のダンサー、振付家、美術家。クラクフのバレエスクールの卒業後、パリ・ソルボンヌ大学にて美術史の学位を取得。フランスで様々な民族の舞踊への知識を深め、これまでにJ.-C.マルゴワールをはじめ数多くの著名な指揮者や演奏家のプロダクションに参加し振付を手掛けている。ポーランド唯一となるプロの宮廷バレエ団「クラコヴィア・ダンツァ」を創設し多くの作品を生み出しているほか、毎年8月にクラクフにて宮廷舞踊フェスティバルを開催。バロック舞踊や宮廷舞踊などに関する著作も多い。数々の功績を称えられ、2010年クラクフ市よりHonoris Gratia、2014年ポーランド政府よりクロス・オブ・メリット勲章(銀メダル)およびフランス政府よりレジオン・ドヌール勲章(シュヴァリエ)、2017年にはポーランド政府より文化功労賞グロリア・アルティス(銅メダル)などを授与されている。

音楽悲劇《アルミード》(初演 1686年/パレ・ロワイヤル)

ジャン=バティスト・リュリ(1632-1687)はフランス・オペラの基礎を作った音楽史上重要な作曲家。類まれな舞踏と作曲の才能の持ち主で、イタリア出身にもかかわらず時のフランス国王ルイ14世の寵愛を受け、様々なタイプの音楽劇作品や宗教曲を生み出しました。本作は台本作家フィリップ・キノー(1635-1688)とともに作り出した音楽悲劇というオペラの1ジャンルとして書かれた最後の作品です。題材はイタリアの詩人タッソの長編叙事詩『解放されたエルサレム』。多くの音楽家の創作意欲を掻き立てマドリガーレやオペラの題材として好んで使われた作品です。また、本作のお話はヘンデルの人気作《リナルド》とほぼ同じですが、アルミードの葛藤が巧みに描かれた作品です。

ものがたり

殺すはずだった敵国の騎士ルノーを愛してしまった魔女アルミード。念願かなって彼に愛されるようになるが、それも魔法の力ゆえ。真実の愛ではないと分かっているが、彼を失うことなんて受け入れられない…。苦悩のはてに訪れるアルミードの運命とは？

レ・ボレアド (合唱・管弦楽/オリジナル楽器使用) LES BORÉADES



北とびあ国際音楽祭から生まれた古楽オーケストラ・合唱。指揮の寺神戸亮を筆頭に古楽のスペシャリストが集結、特にモーツァルトやフランス・バロックの演奏に定評がある。レ・ボレアドとはギリシア神話に登場する北風の神々で、北区から文化の風を吹き起こそうというメッセージがこめられている。

※オリジナル楽器(作曲当時の状態に復元した楽器)を用い、楽器だけでなく作曲家、またその当時の歴史的背景にも深い研究を重ね、現代の発想も交えて演奏することで、より生き生きと演奏の持っている本質に迫った演奏ができる特徴がある。

合唱

ソプラノ: 鈴木 真衣/鈴木 美紀子/名倉 亜矢子/広瀬 奈緒

アルト: 久保 法之/眞弓 創一/村松 稔之

テノール: 谷口 洋介/中嶋 克彦/根岸 一郎/山中 志月

バス: 木村 雄太/小酒井 貴朗/篠木 隆明/山本 悠尋

管弦楽

ヴァイオリン: 寺神戸 亮/高田 あずみ/荒木 優子/
秋葉 美佳/大内山 薫/迫間 野百合/鳥生 真理絵

ヴィオラ: 渡部 安見子/深沢 美奈

バス・ド・ヴィオロン: 懸田 貴嗣/西沢 央子/島根 朋史

ヴィオラ・ダ・カンパ: 上村 かおり ヴィオロネ: 角谷 朋紀

リコーダー: 古橋 潤一/太田 光子 オーボエ: 荒井 豪/森 綾香

ファゴット: 永谷 陽子 テオロポ: 瀧井 レオナルド

チェンバロ: 上尾 直毅/藤東 美萌

北とびあ

東京都北区王子1-11-1
JR京浜東北線王子駅北口
東京メトロ南北線王子駅
下車徒歩2分



※車椅子席をご希望の方は発売日より下記お問い合わせ先にてご予約ください

(数に限りあり)SS席・S席のみ取扱い。

※未就学児の入場はお断りしております。

※託児サービス(2歳以上の未就学児、1人2,000円)をご希望の方は発売日より12/2(金)

までに、イベント託児・マザーズ0120-788-222(平日0:00~17:00)へお申込みください

(※定員に達した場合、早急に締め切る場合もございます)。

※都合により出演者・スタッフ・配役を変更する場合があります。

※場所により字幕や舞台が見づらいお席もございます。

※開演中に入場される場合は、お求めいただいたお席ではなく、係員がご案内するお席でご鑑賞

いただきます。入場までしばらくお待ちいただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※会場内での許可のない写真撮影・録音・録画などはお断りしております。

■北とびあ国際音楽祭アドバイザー

大石 泰(音楽プロデューサー・東京藝術大学名誉教授) 木村 元(編集者・アルテスパブリッシング代表)

関根 敏子(音楽学) 田中 隆文(邦楽ジャーナル編集長)

お問い合わせ

(公財)北区文化振興財団 / 03-5390-1221

▶ <https://kitabunka.or.jp/>

アルミードを楽しむ

講座をYouTubeで公開予定!

講師: 関根 敏子 (音楽学)

公開予定日: 2022年11月1日

※公開日は都合により予告なく前後する場合があります。

※音楽祭特設HP内にアップします。

北とびあ国際音楽祭

特設ホームページ

(2022年8月下旬OPEN予定)

北とびあ国際音楽祭2022

全公演の情報はこちらで紹介!



北とびあ国際音楽祭の情報を発信中!
@HIMF_info

